

令和 7 年度
和泊町総合振興計画等外部評価委員会
評価結果報告書

令和 8 年 1 月

和泊町総合振興計画等外部評価委員会

目 次

1 外部評価委員会について

1-1 目的・背景

1-2 外部評価委員名簿

1-3 委員会開催状況

2 評価結果について

2-1 評価対象事業

2-2 評価の観点

2-3 評価結果

3 外部評価委員会からの提言

1 外部評価委員会について

1-1 目的・背景

第6次和泊町総合振興計画は、2020年度から2029年度までの10年間を計画期間として策定されました。この間、新型コロナウイルス感染症や各地で発生する紛争など世界情勢は日々変化し、本町においても脱炭素先行地域への選定や自治体DXへの対応など、町を取り巻く環境は大きく変化しています。また、社会情勢の変化に合わせて町民ニーズも変化しており、これらの変化に柔軟かつ適切に対応する必要があります。

和泊町総合振興計画等外部評価委員会（以下「外部評価委員会」）は、町が取り組む時代の変化に柔軟に対応した第6次和泊町総合振興計画の見直しを行うにあたり、これまでの5年間の取組について評価検証を行うため組織されました。

外部評価委員会は、町内の関係団体の代表のほか、公募による高校生1名と町民2名を含む15名で構成されています。外部評価委員会では会議を4回開催し、評価対象となったプロジェクトの事業進捗状況報告・質疑応答、プロジェクトに関する意見交換などを実施しました。

1-2 外部評価委員名簿

大久保 勇哉	和泊町商工会代表
中田 勝巳	元気！わどまりクラブ代表
有川 輝政	農業青年クラブ代表
島田 信秀	沖永良部島漁業協同組合代表
西 温子	おきのえらぶ島観光協会代表
池田 照泰	和泊町スポーツ推進委員会代表
金城 真幸	特定地域づくり事業協同組合代表
喜井 幸子	和泊町地域女性連絡協議会代表
松山 将人	金融懇話会代表
亘喜 心	公募による高校生
水嶋 健	公募による町民
大谷 華南	公募による町民
並木 建吾	起業家（地域おこし協力隊 OB）
上村 昌範	起業家（地域おこし協力隊 OB）
新納 佳恵	NPO 法人代表

1-3 外部委員会開催状況

開催日時・場所	会議内容
第1回 令和7年8月27日（水）午後3時～ 場所：和泊町役場結いホール	・ 委員紹介、委員長選出 ・ 外部評価委員会の進め方 ・ プロジェクトの振り返り
第2回 令和7年9月25日（木）午後7時～ 場所：和泊町役場結いホール	・ 外部評価結果について ・ プロジェクトに関する意見交換
第3回 令和7年10月14日（水）午後7時～ 場所：和泊町役場結いホール	・ プロジェクトに関する意見交換
第4回 令和7年11月13日（木）午後7時～ 場所：和泊町役場結いホール	・ 第6次和泊町総合振興計画外部評価結果報告書（案）の検討

2 評価結果について

2-1 評価対象事業

今年度の外部評価委員会では、第6次和泊町総合振興計画において「これからの10年間をつくる新たな取り組み」として提案された7プロジェクトについて評価を行いました。

①むうるほうらしゃプロジェクト（担当課：土木課）

【概要】自転車を活用したまちづくり

②みじらしゃエリアプロジェクト（担当課：保健福祉課）

【概要】高齢者のまちなか移住によるにぎわい創出

③まちゅんどプロジェクト（担当課：企画課）

【概要】教育・Uターン移住促進および関係人口拡大による地域振興

④むうるし、ふでいらさープロジェクト（担当課：こども未来課）

【概要】子育て世代、若い世代の子育て力強化

⑤みへでいろプロジェクト（担当課：経済課）

【概要】島の自然の恵みと資源を有効に活用した農林水産業の活性化

⑥ようていあしばープロジェクト（担当課：教育委員会事務局）

【概要】スポーツや文化の拠点となる交流施設の整備

⑦あたらむープロジェクト（担当課：町民支援課）

【概要】ごみ排出量の削減などによる環境負荷の低減

2-2 評価の観点

外部評価委員という客観的な立場で、「全体最適」や「町民満足」といった一町民としての視点から、プロジェクトの目的や内容、達成に向けた課題把握等について評価を行い、プロジェクトの見直しを含めた今後の方向性について意見をまとめました。

2-3 評価結果

プロジェクト名	むうるほうらしゃプロジェクト
今後の方向性	拡充
外部評価委員会からの意見 や提言（一部）	<ul style="list-style-type: none">・ 外部団体等との連携によるソフト事業の充実（人材育成等）・ 自転車利用に関するルール整備と交通安全教室等の実施による安全確保

プロジェクト名	みじらしゃエリアプロジェクト
今後の方向性	見直し
外部評価委員会からの意見 や提言（一部）	<ul style="list-style-type: none">・ みじらしゃ通り周辺にこだわらずに各字内に集まれる場所の整備・ 地域内にモデルハウスを整備してお試し暮らしの実施

プロジェクト名	まちゅんどプロジェクト
今後の方向性	拡充
外部評価委員会からの意見 や提言（一部）	<ul style="list-style-type: none"> ・島の若者や保護者、島外にいる若者に対するアンケート調査の実施 ・沖洲会などを通じたＲターンの推進と島との繋がりづくり

プロジェクト名	むうるし、ふでいらさープロジェクト
今後の方向性	現状維持
外部評価委員会からの意見 や提言（一部）	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な家庭環境の子どもがいるので、家庭環境に沿った支援の充実 ・子育て力の向上と家族と一緒に子育ての取組の継続

プロジェクト名	みへでいろプロジェクト
今後の方向性	拡充
外部評価委員会からの意見 や提言（一部）	<ul style="list-style-type: none"> ・産地間連携事業などを通じた他の地域と連携や観光と連携した農業振興 ・島の農林水産物の旬の時期のＰＲによる食料自給率の向上

プロジェクト名	ようていあしばープロジェクト
今後の方向性	(ハード) 見直し (ソフト) 拡充
外部評価委員会からの意見 や提言 (一部)	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな交流施設の整備が中止により既存施設の機能強化の実施 ・既存インフラを利活用したソフト事業の充実による交流

プロジェクト名	あたらむープロジェクト
今後の方向性	拡充
外部評価委員会からの意見 や提言 (一部)	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンセンターの最終処分場の寿命が近いことなど町民への啓発 ・ごみ分別の細分化や資源ゴミをリサイクルできる仕組みづくり

3 外部評価委員会からの提言

令和7年度和泊町総合振興計画等外部評価委員会では、第6次和泊町総合振興計画の7プロジェクトについて評価を行いました。各プロジェクトの評価結果については「2-3 評価結果」のとおりです。

第6次和泊町総合振興計画の推進にあたり、外部評価委員会として以下の点について検討・改善が必要であると判断しました。

- ・総合振興計画に対する町民の認知度向上
- ・イベント等に関する情報提供不足
- ・町内（島内）の関係団体や企業、町民との連携不足
- ・プロジェクト同士の連携不足、役場内部の連携不足
- ・プロジェクトの目標と成果の数値化
- ・ゴールまでの道のりが分かるガントチャートの作成

今後は、情報提供の在り方や関係団体等との連携を見直し、町民・関係団体・企業・行政が一体となって第6次和泊町総合振興計画を推進し、目指す未来像の実現に取り組むよう提言します。